



広報

たしろ

No. 468

平成 4 年

8月号

平成 4 年 8 月 6 日発行

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地 1



国産材加工センターでの現地研修

田代町正副小組合長と 町技連会との町内外合同研修会

(関連記事 2 ページ)

田代町正副小組合長と

町技連会の町内外合同研修

田代町小組合長連絡協議会では、七月二十二日、正副小組合長と田代町技連会合同の町内研修を行いました。

町内の営農状況及び小組合、団体、グループ等の活動状況の研修、経済振興対策等について技連会との合同研修を毎年行っています。今年は、橋ノ口のスイカ・トマト、山ノ口の危険物処



たばこ共同乾燥施設

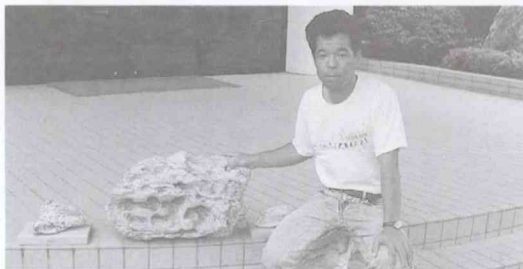
理場、川原のディ・サービスセンター、郷ノ原のたばこ共同乾燥施設、根占町の肉用牛（畜産基地）、花間係を研修し、根占町の港公園で昼食をとり、午後から花ノ木の国産材加工センター、大根占町の茶関係、宿利原の大根、半ヶ石のネギの現地研修を行い、老人福祉センターで検討会及び懇親会が実施され有意義な研修会が行なわれました。



大根占町の茶園

小園富士雄さん 南極の石を寄贈

平石集落出身で鹿屋自衛隊勤務の小園富士雄さんより南極の石が贈られました。これは小園さんが、昨年の十一月十四日から今年の四月十三日まで南極観測隊の支援作業の隊員として、南極へ行かれた時に持ち帰られたもので、町民の皆さんに見ていただきたいと寄贈されたものです。この石は現在役場町民サロンの置かれています。



南極の石と小園富士雄さん

「南極の石」

北海道大学理学部助教 白石和行

昭和基地周辺の岩石は、5、10億年前に、温度や圧力の高い地下深所で形成され、ゆっくりと冷えながら、地表に現れてきたもので、このような古い岩石は、日本では見つからない。南極に産出する岩石は、いずれも様々な意味で珍しいばかりでなく、学術上貴重なものである。

「たなばた」

短冊に願いを込めて――田代幼稚園のみなさんが、手作りのたなばた飾りを役場、農協、商工会に寄贈して下さいました。役場では、早速玄関ロビーに飾りましたが、年々上達するたなばた飾りに役場職員をはじめ、訪れる方々や町民のみなさんの心をやすらげてくれるということで大変な好評を得ています。どうもありがとうございます。七色の色紙に綴られた子



手作りのたなばた飾りと...

お知らせ

まずチェック

忘れていないか自賠責
今年も無保険（無共済）バイク対策協議会（総務庁、警察庁、大蔵省、農林水産省、運輸省等）では、9月1日から9月30日まで「無保険（無共済）バイクをなくそうキャンペーン」を行います。250cc以下のバイクに

は車検制度がないこともあって、自賠責保険（共済）の継続契約をつい忘れがちです。小さなバイクだからといって「油断は禁物」、バイクの起こす人身事故も軽視は出来ません。無保険（無共済）で死傷事故でも起こしたら、それこそ大変です。

また、バイクにも自賠責保険（共済）への加入が法律で義務づけられており、無保険（無共済）で走ると、6ヶ月以下の懲役、または5万円以下の罰金、さらに違反点数6点となり、免許停止処分となります。もし、契約切れになっていたら、最寄りの損害保険会社、代理店（バイク・自転車店、コンビニエンスストア等）農協へいきましよう。

個人事業税（第一期）の納税は

8月末までに

8月は、個人事業税の第一期の納期です。

個人事業税の納税通知書を受け取られた方は、8月31日（月）までに最寄りの金融機関等に納めてくださるようお願いいたします。納税方法には、便利な「口座振替」制度もありますので、是非御利用ください。なお、年税額が1万円以下の場合、第一期（8月）に全額を納めていただくことになっています。詳しいことについては、最寄りの各総務事務所、県税事務所又は支庁財務課へお問い合わせください。

夏の交通事故 防止運動

7月21日（火）から8月20日（木）まで「夏の交通事故防止運動」が実施されています。この時期は、子供の屋外活動の活発化や、海・山へのレジャーに伴う交通量の増加、暑さによる疲労の蓄積、解放感に伴う飲酒・いねむり・暴走運転による交通事故の多発が予想されます。正しい交通ルールとマ

災害被害者に対する

県税の減免について

風水害、震災、火災等の災害によって、住宅などの財産に損害を受けた場合には、損害の程度に応じて県税（個人事業税、自動車税、不動産取得税及び個人県民税）の減免を受けることができます。また、災害により、県税を納期限までに納めることができない場合には、納期限の延長あるいは徴収の猶予が認められます。これらの救済措置を受けるには、一定の要件と所定の申請書の提出が必要となります。詳しいことについては、最寄りの各総務事務所、県

- ナーの実践を習慣づけ、交通事故を防止しましょう。
- 運動の重点
 - 1 飲酒・いねむり・暴走運転の追放
 - 2 走行者・自転車の交通事故防止
 - 3 シートベルト着用の徹底

「あの人はどこに」 「ゆくえ不明者をさがす相談所の開設」

警察では八月中、全国一斉に「ゆくえ不明者をさがす運動」を行います。この運動は、家出人や出稼ぎに出たまま、まったく音信の無い人の居所をさがしたり、また不幸にして死亡され、知らない町で無縁仏として、寂しく埋葬されている人の身元を確認し、御家族にお渡しすることを目的としています。家出や出稼ぎなどに出たまま、ゆくえのわからない人の御家族、御親戚で困りの方
○秘密は固く守ります。
○相談は無料です。
どうぞ、遠慮なく相談においで下さい。
なお、相談に際しては、ゆくえのわからない人の顔写真や身体特徴（例えば歯の治療跡、手術の跡、傷跡、

埋蔵文化財センター 開所記念講演会

県立埋蔵文化財センターでは、開所記念行事として講演会を開催します。多くの方々の御参加をお願いいたします。
○演題及び講師
・「弥生文化における南九州の特色」 佐原 真先生（奈良国立文化財研究所長）
・「古墳文化における南九州の特色」 河口貞徳先生（鹿児島県文化財保護審議会委員）
○日時 8月22日（土）午後1時30分～5時
○場所 県立埋蔵文化財センター

始良郡始良町平松 6252
 ☎09958787
 ○定員 100名 先着順

県立博物館 催物案内

▼特別展「世界のツマベニ・クワガタ・コガネムシ展」
 鮫島コレクションを中心に

期間 7月21日(火)～8月30日(日)、月曜日と8月20日(木)は休館
 場所 本館1階企画展示室
 入場料 無料

▼博物館映画会
 「トンボがかなる自然環境」「可愛いコアラ」の2本立
 日時 8月9日(日)14時～15時
 場所 本館3階実験室
 入場料 無料

▼県民大学公開講座
 「鹿児島植物散歩」
 講師 杉本正流氏(植物研究家)

日時 8月22日(土)13時30分～16時
 場所 本館3階実験室

教育だより

田代中学校

一人一鉢

本校では、一人一鉢として一年生(サルビア)二年生(三郷ミックス)三年生(インパチェンス)の植え付けをしました。
 毎日、成長を見守り美しい花が咲くことを、全校生徒、楽しみにしています。



きれいな花が、咲きますように...



参加料 無料
 ▼博物館科学教室「楽しい科学工作 フルーツ電池を作る」

日時 8月23日(日)10時～12時・14時～16時

場所 本館3階実験室
 対象 小・中学生とその保護者

定員 各48名※材料費200円
 申し込みは県立博物館へ
 (☎099226050)

「文化財研修講座」 受講者募集

県教育委員会では、文化財保護行政・郷土館等の運営等に従事している人や、文化財保護に関心のある人を対象に、文化財保護に関する基本的な知識・技能及び文化財愛護思想を高めるために、「文化財研修講座」を開催します。私達の祖先の努力と英知によって造られた、受けつがれてきた素晴らしい文化遺産について、あなたもさらに知識を深めてみませんか。

日時 8月6日(木)～7日(金)

○場所 県立視聴覚センタ
 1大研修室
 ○申込み方法 所定の申込書に必要事項を記入し、8月3日(月)までに、県教育庁文化課へお送り下さい。
 ○なお、申込書は、教育委員会にあります。
 ○問合せ先 県教育庁文化課(☎0992268111内線3913)

同和問題啓発強調 月間(8月)

差別のない
明るい社会を

私たちは、だれもが幸せに生きたいと願っています。しかし、実際には、幸せな生きかたをさまざまにさまざまな差別があります。その中で最も深刻で不合理な社会問題として同和問題(部落差別の問題)があります。同和問題というのは、封建時代の身分制度がもとになって生まれた差別であり、その現象が現代社会においても今なお、続いている問題です。県では、同和問題の一日

水泳大会

三年 原澤政徳

その日は、眩しい朝に始まりました。その輝きに、みんなの楽しみにしていた水泳大会が、ピストルの音とともに始まりました。
 水泳大会も興奮さめやらないうちに、「あっ」という間に、最後の学級対抗リレーまで来て、泳ぎだけでなく応援にまで、熱が入りました。
 結果はどうであれ、夏の思い出のページが、一人一人の心の中にのこされたのではないかと思います。



ヨーイ! ドン!

も早い解決のために積極的な取組を行ってきておりますが、その解決のためには何といっても県民の皆様一人ひとりが同和問題について正しく理解・認識していただき、差別をなくすための取組をしていただくことが必要です。
 そのため、県では8月を同和問題啓発強調月間として定め、各種の啓発活動を集約的に実施しております。特に、8月7日には「同和問題講演会」を鹿児島市民文化ホールで開催することにしております。(入場料は無料です)
 多数の県民の方々の参加をお願いいたします。

八月の日曜在宅医

八月九日
 大根占医院 山下健治
 099421212658
 八月十六日
 黒木医院 黒木一丸
 099421610013
 八月二十三日
 津崎医院 津崎邦英
 099421412153

生涯学習先進地研修報告

田代町生涯学習推進会議では、生涯学習先進地の視察研修をおこないました。今年度の視察には企画委員会メンバー(課長)ら十一名と推進会議メンバー九名、合計二十名が参加しました。
 研修地は熊本県阿蘇郡小国町と佐賀県西松浦郡西有田町の二町を訪問、ユニークな町づくり、地域づくりの様子を研修しました。
 小国町は「悠木の里」づくりとして木材を利用したハウス「小国ドーム」で有名な町です。西有田町は「農の心」を大切にして「アジア田植え歌祭り」が有名で、それぞれ町の特徴を生かした町づくりがすめられていました。



田代の未来を見すえて...

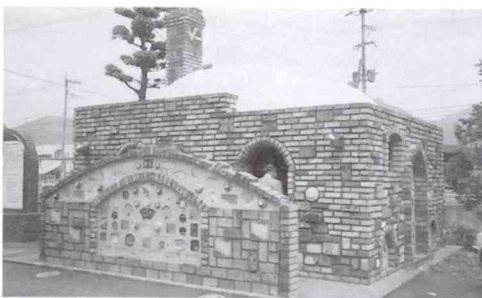
自動車運転科入生 の募集について

現在、鹿児島県身体障害者更生指導所では、次の要領により自動車運転科の入生を募集しております。
 1入所資格
 次のいずれにも該当する者とする。
 (1)身体障害者手帳の交付を受けた肢体不自由者で18歳以上の者
 (2)義務教育を終了した者、又はこれと同等以上の学力があると認められる者
 (3)肢体不自由者以外の著しい身体障害者、視覚障害、聴覚障害、精神障害又は伝染性疾患を有しない者
 (4)他人の介助によらず日常生活ができる者
 (5)運転免許を取得しようとする者(運転免許取得時に免許条件として車両限定がなされると認められる者に限る)

八月三十日
 二川内科胃腸科 二川俊文
 099421212033



壮大な木造建築、小国ドーム



有田焼を壁面いっぱいに飾ったトイレ

同和問題に正しい理解と認識を

江戸時代に、徳川幕府は、民衆に対して政治・経済・社会などの多方面にわたって制圧を加え、専制支配体制をつくりあげました。

さらに、民衆の分裂支配を強めるためと、支配される民衆の不平不満を特権階級に向けさせないために、「土・農・工・商」という身分制度の下に「さらに低い身分」をおきました。

この身分に組み込まれた人々は、住む場所、職業、結婚など生活のすべての面できびしい制限をうけ、差別されました。

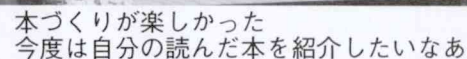
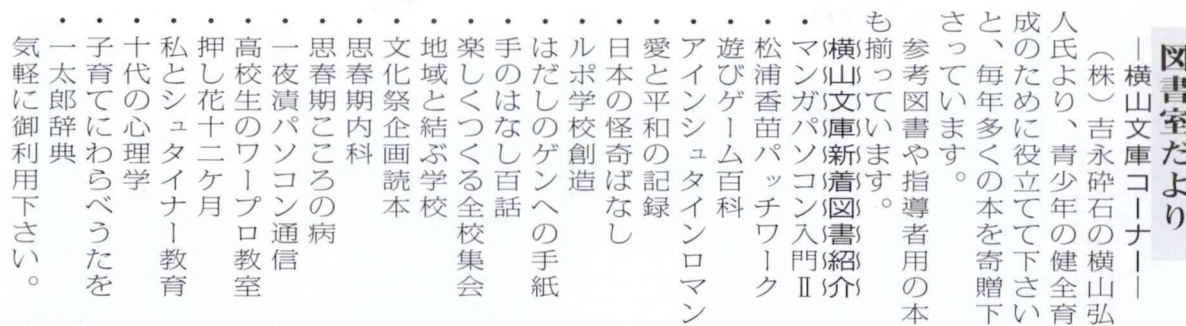
同和問題は、この封建時代の身分制度に基づく差別政策の影響が今日なお生きつづけ、「同和地区に生まれ育った」という理由だけで、基本的人権が、著しく侵害されているという重大な社会問題です。

部落差別をなくすためには、これまでにいろいろな取り組みが進められてきました。

その結果、対象地域の生活環境がよくなり、内外における人権尊重意識の普及高揚や、各種啓発活動の実施等により、差別はずいぶん解消されてきています。

しかしながら、いまなお、結婚問題や日常の交際などでこだわるなど、心理的な差別意識が残っていることも事実です。

この問題の解決が、国民的課題であるといわれながら、こうした意識がなぜなくなるのかを考えていきましょう。



●「同和問題は国民的課題であり、この問題を解決するためには、県民一人ひとりの協力が必要である。」といわれるのはなぜですか。

同問題を解決することは、国・県・市町村の責務であることはもちろんですが、関係者の努力とともに町民の皆さん一人ひとりの理解と協力がなければとうてい根本的な解決は図れません。

「同和問題の解決は国民的課題である。」といわれるゆえんです。

町民の皆さんが、現代社会にまだ残されている不合理や偏見を見抜く力をつけ、日常生活の上で一人ひとりの「人権を尊重する態度」を身につけることにより、それが家庭生活や社会生活の上に生かされて、はじめて同和問題解決の展望が開かれるのではないのでしょうか。

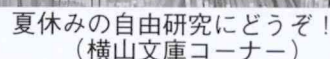
「世の中が進んでいけば、自然に差別が無くなっていくのだから同和問題は、そっとしておいた方がよいのでは…」とか、「寝ている子をわざわざ起こす必要はない。」という声をよく耳にします。

果たして、そっとしておけば、同和問題は自然に解消し、根本的な解決が図られるのでしょうか。

「解放令」が出されて120年余りもたった今日まで、なにゆえに差別が残っているのでしょうか。

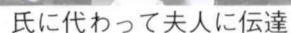
このことは、同問題解決のために、その本質の理解が重要であることを示しているのです。

「寝た子」を正しく起こし、部落差別の不合理性を正しく理解、認識させることが、この問題解決のためには、何よりも必要なことなのです。



夏休み子ども読書教室
次回は八月十二日（水）

故 迫田和也氏
勲五等瑞宝章受賞



で、本県教育振興に尽くされ限りない足跡を残して来られました。

第30回郡民体育大会終る

また、故迫田氏は、その長い教職生活の中で、本町にも多大の功績を残しておられます。

氏は、昭和二十一年三月

氏は、昭和二十一年三月から母校である田代国民学校に勤務され二十六年四月からは教頭として（田代小学校と改称）勤務されています。

第三位 野 球
※個人の部
第一位 男子八〇〇リレ

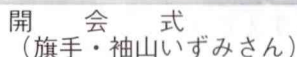
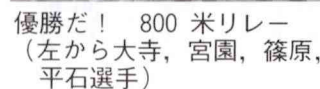
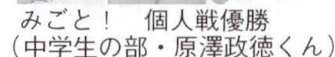
1 (宮園、平石、篠原大寺)

第二位○中学男子百米決

米決勝

○ 共通千五百米走

1
(永野、安楽)



○ 三〇才未満砲丸
 投げ 平石勝洋
 ご苦勞さまでした。

よこれがおちる
歯みがきを

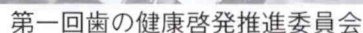
齒の健康啓発

推進委員会が発足

顧問に学校歯科医

神田光一先生

県 の 指 定 を 受 け た 歯 の 健 康 啓 発 推 進 事 業 が ス タ ー ト し て、推 進 委 員 長 に 下 津 和 徳 田 代 小 校 長、副 委 員 長 に 迫 昭 博 町 P 連 会 長 と 田 代 凱 洋 役 場 民 生 課 長 を 決 定 し ま し た。第 一 回 の 推 進 委 員 会 で は、「む し 歯 は り り っ ぱ な 病 気」、「歯 み が き の 必 要 性」な ど、神 田 光 一 先 生 の 講 話 が あ り ま し た。



健康だより

「日本版健康のための8習慣！」

大阪大学医学部の森本兼
ひさ教授は、以前から、ア
メリカのプレスローラが見
つけた健康のための7習慣
の研究に注目して、日本で
の研究を積み重ねてきまし
た。

森本教授が日本での研究
成果に基づいて提唱した、
健康のための8習慣とは、
つぎのようなものです。

- ①喫煙をしない。
 - ②過度（ほぼ毎日）の飲酒
をしない。
 - ③ほぼ毎日朝食を食べる。
 - ④睡眠時間は七時間から八
時間である。
 - ⑤九時間以下の労働にとど
める。
 - ⑥週二回以上の運動をする。
 - ⑦栄養のバランスを考えて
食べる。
 - ⑧自覚的ストレス量が多く
ない。
- これらの日常生活習慣を
多く守っている人は、身体

的な健康度も精神的な健康
度も高い傾向にあることが
認められています。

未成年者（短大生）にも
同様の調査が行なわれまし
た。未成年者の調査の際に
は、若干異なった項目が用
いられています。

労働時間と自覚的ストレ
スの項目はなく、代わりに
適正体重（標準体重のプラ
スマイナス10%以内）の維
持が含まれていて、合計七
項目でした。

また項目の基準も、運動
と飲酒に関しては次のよう
になっていました。

●運動部に所属するか、所
属しないが週一回以上何
らかのスポーツをしている
。

●お酒を飲んだことがない、
又は飲んだ経験はある。

結果は、健康習慣のよい
（四以上守っている）群で
は、不定愁訴が少なく、病
欠日数も少ないというもの
でした。精神的な不定愁訴
量や、自己評定抑うつ度、
学校欠席日数も少ない傾向
にありました。
皆さんも自分の生活習慣

人口のうごき

平成4年7月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,828	3	4	1	4	2
女	2,021	2	5	2	5	0
計	3,849	5	9	3	9	2
世帯数	1,446					3

を考えてみましょう。

八月十五日「戦没者を追悼し平和を祈念する日」
全国戦没者追悼式

正午には黙とうを



戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



田代町社会福祉協議会
「篤志寄附金」

さきに御逝去されました
方の御遺族より、香典返し
を廃止され社会福祉協議会
へ多額の寄附を賜りました。
厚くお礼申し上げると共に
御冥福をお祈りします。

堀田 吉夫 様

上吹越 利幸 様